

CHECK ONE LH

排卵日予測検査薬 チェックワン® LH

一般用黄体形成ホルモンキット

第1類医薬品



【反応系に関与する成分】

(チェックスティック1本中)

金コロイド標識抗 LH- β モノクローナル抗体(マウス) 4.37 μ g

抗 LH- α モノクローナル抗体(マウス) 1.09 μ g

抗マウス IgG ポリクローナル抗体(ウサギ) 34.1 ng

【使用目的】

尿中の黄体形成ホルモン(LH)の検出(排卵日予測の補助)

【この検査薬で排卵日がわかるしくみ】

黄体形成ホルモン(LH)は、女性ホルモンの一種で、普段から少量分泌されています。生理(月経)周期の中頃に短期間ですが、この LH の分泌量が急激に増加します。この LH の大量分泌を LH サージといい、LH サージから約 40 時間以内に排卵がおこるといわれています。「チェックワン LH」は尿中に分泌される LH を検出し、LH サージをとらえるための検査薬です。排卵を予測するための方法の一つとして基礎体温が知られていますが、基礎体温と併せて検査を行うと、より排卵日の予測の補助として有用です。

この検査薬は、LH サージを検出するもので、排卵を確認するわけではありません。6 周期検査をし、適切な時期に性交しても妊娠しない場合は、医師の診療を受けてください。

【検査方法】

<検査のタイミング>

下の表を参考に、ご自分の生理(月経)周期から換算して、次回生理(月経)開始予定日の 17 日前から検査を開始してください。

生理(月経)周期	21日以下	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	32日	33日	34日	35日	36日	37日	38日	39日	40日
検査を始める日	生理(月経)開始から																			
	5日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目	21日目	22日目	23日目

<検査の時期に関する注意>

- ・1日1回検査をする場合：1日1回毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。
- ・1日2回検査をする場合：1日2回(例えば朝夕)検査をしてください。毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。
- ・生理(月経)周期が不規則な方は最近の2～3周期の中で一番短かった周期を目安にして、次回生理(月経)開始予定日を決めてください。

<検査のしかた>

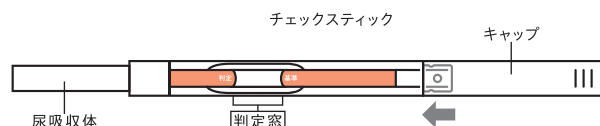
検査開始日から、1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。

(過去に検査をしてLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性か陰性かの判定に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。)

- ・検査は以下の手順に従ってください。
- ・アルミ袋は検査直前に開封してください。

1 キャップを後ろにはめる

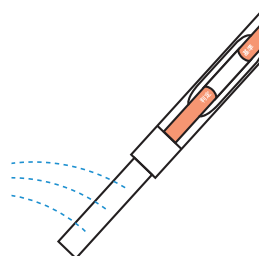
チェックスティックを取り出し、キャップをチェックスティックの後方に装着してください。



2 尿をかける または 浸ける

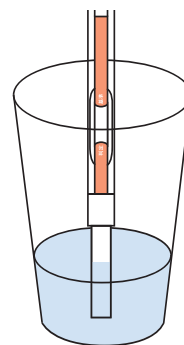
尿吸収体が下を向くように持ち、尿吸収体全体に尿を2秒間かけるか、乾いた清潔な紙コップに採尿し、尿吸収体全体が浸るように2秒間、尿に浸けてください。(採尿後はできるだけ速やかに検査をしてください。)

2秒 かける



2秒 浸ける

または

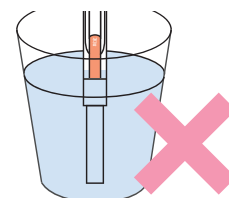
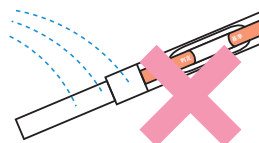


※このとき、尿吸収体以外を尿で濡らさないように気をつけてください。



※採取した尿で検査をする場合は、尿吸収体のみを浸けてください。

※尿を10秒より長くかけたり、10秒より長く浸けないでください。



3 キャップをする

濡らし終わったら尿吸収体を下に向けたままキャップをしてください。



4 水平に置く

平らなところに判定窓が見えるように置き、1分間静置してください。

1分 待つ



<判定のしかた>

- ・まずチェックスティックの**判定窓**に赤色の**基準ライン**があらわれていることを確認してください。
- ・判定は**判定窓**の**判定ライン**と**基準ライン**の有無及び色の濃さを比較して判定してください。
- ・10分を過ぎての判定は避けてください。
- ・初めて陽性になったときが、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵がおこるというしるしです。

スコア	判定窓 判定ライン 基準ライン	判定
1		陰性 (－) 判定ラインが認められない(スコア1)か、判定ラインの赤色の濃さが基準ラインより薄い場合(スコア2) LHサージが検出されませんでした。 翌日以降もほぼ同じ時間帯に陽性になるまで検査を続けてください。
2		
3		陽性 (+) 判定ラインの赤色の濃さが基準ラインの赤色と同じ(スコア3)か、それより濃い場合(スコア4) LHサージが検出されました。 間もなく排卵がおこると予測されます。初めて陽性になった日かその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)です。
4		
基準ラインが認められない場合	 	再検査 判定窓 に基準ラインが認められない場合は、尿吸収体にしみこませた尿が少なかったこと等が考えられますので、別のチェックスティックを用いて検査をやり直してください。

※実際にあらわれるラインの色・形は例示と異なる場合があります。

※同じ時間帯に検査ができない場合でも、LHサージを見逃さないために1日1回は必ず検査をし、翌日から一定の時間帯に戻して検査をしてください。

※陽性になった時点で、この周期での検査は終了です。未開封のチェックスティックは、使用期限内でしたら次回以降の検査に使用できます。

【判定に関する注意】

①検査初日から陽性になった場合

既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、陰性になることが確認できるまで検査を続けてください。(確認できない場合は、③を見てください。)

②検査期間中、陰性が続く場合

早期に医師又は薬剤師に相談してください。

通常、排卵期に、本品を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理(月経)周期、短期LHサージ(12時間以内)などの原因で、まれに陽性とならないことがあります。

③検査期間中、陽性が続く場合

早期に医師の診療を受けてください。

妊娠、分娩後、流産後、胎状奇胎・絨毛癌等の絨毛性疾患、人工妊娠中絶後、あるいは不妊治療のための薬剤投与、内分泌障害、閉経期などでは、排卵と無関係に、陽性が続く場合があります。

④検査をし、その都度陽性を確認した上で適切な時期に性交しても6周期以上妊娠しない場合

妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。できればパートナーと一緒に医師に相談してください。ただし30歳代後半以上の方、結婚後妊娠できない期間が長い方、早期の妊娠をご希望の方は早めに受診することをお勧めします。

☒ 排卵日予測検査薬 チェックシート

このシートは、お客様がご使用の際にご自身で確認いただきたいことをお示しており、ご購入の際にお渡ししているものです。このシートで伺っている内容をご理解の上、ご使用くださいますようお願いいたします。

本製品については以下の内容について注意が必要です。正しくご理解の上ご使用いただくようお願いいたします。

以下の内容について、正しく理解している場合は、左の□にチェックをつけてください。

- ☐ 1. 本製品を避妊の目的で使用できないこと。
- ☐ 2. あなたが今、以下の場合にあてはまらないこと。
又は、あてはまる場合には医師に相談した上で使用していること。
 - ①不妊治療を受けている。
 - ②適切な時期に性交をもっても1年以上妊娠しない。
 - ③生理周期や月経に異常がある。
- ☐ 3. 検査期間中、陰性が続きLHサージ*が確認できない場合は、早期に医師、薬剤師に相談すること。

*LHサージとは、排卵の引き金になる黄体形成ホルモンの大量分泌のことです。排卵日予測検査薬は、このLHサージをとらえることで、排卵日を事前に予測します。
- ☐ 4. 次の生理開始予定日の17日前から検査を開始すること。
- ☐ 5. 毎日ほぼ同じ時間帯に検査をすること。
- ☐ 6. 検査及び判定のしかた。